



学校教育目標 「学び合い」 「個性」 「自立」

- | | |
|--|-----|
| (1) 生きるための基本的な生活習慣・学力を身につける生徒を育てます。 | 【知】 |
| (2) 自分のまわりの人とふれあい、お互いを大切にする心を育てます。 | 【徳】 |
| (3) 自他の生命を尊重し、健康でたくましい体を育てます。 | 【体】 |
| (4) 社会の一員として自覚をもち、自分の生き方を決められる生徒を育てます。 | 【公】 |
| (5) 体験を通して自分を豊かにし、社会の変化に柔軟に対応できる生徒を育てます。 | 【開】 |



「春の新風に」

校長 井上 菜穂子

4月7日、午前には始業式、午後には入学式が行われました。どちらも2年ぶりに形を変えました。始業式は2、3年生一緒に体育館で行い、新1年生の入学式は、保護者の方に他の学年の教室に入って生中継で式を見てもらいました。PTA会長さんにも3年目にしつと、保護者代表として式に臨席してもらうことができました。

在籍数の多い本校なので、これまでできることは何か、を模索してきましたが、生徒たちもけじめある態度で、おごそかに、式に参加してくれ、安心したと同時に感心しました。学校ができること、学校に求められること、これからも社会情勢をみながら、市のガイドラインに照らしつつ、対策を工夫しながら安全に、効果のある方法で教育を進めていきたいと思っています。

始業式では、学校教育目標についてあらためてお話をしました。

- | | |
|----------|-------------------------|
| 「学び合い」とは | 向上心をもって互いに取り組むこと |
| 「個性」とは | 適性を理解し合って協力して取り組むこと |
| 「自立」とは | 責任をもってやりとげ、信頼される存在になること |

そのときに使ったものを校長室前にも掲示しましたので見てくださいね。

入学式では、2つのお伝えをしました。

「学ぶこと それを活用する力を身につけること」

「思いやりのある豊かな心を育むこと 磨くこと」

この春に、新しい仲間や先生方と出会うことができました。去年までの自分は過去に置いてきて、新しい春の風になりませんか。さわやかで温かい、笑顔あふれるスタートにしていきたいと思います。少し変わったかもね、という周りの仲間もぜひ応援していきましょう。

新入生の言葉(入学式・対面式)

入学式



穏やかな春の日差しの中、私たち新入生301名はこの田奈中学校に入学しました。

小学校を卒業してから3週間、私たちは新たに始まる中学校生活に、少し不安を覚えながら、今日の日を迎えました。

しかし、それ以上に、たくさんの期待も抱いています。

私自身、中学校に入学したら頑張りたいと思っていることが3つあります。ひとつめが部活動です。小学校のクラブよりも本格的で、深いところまでやりこめるのではないかと思います。中学校から始まる部活動をずっと楽しみにしていました。

部活動は、美術部と吹奏楽部のどちらにしようか迷っています。美術部に入りたい理由は、私は絵を描くことが好きで、美術部に入れば、実力もついて、さらに絵を描くことが好きになれると思うからです。吹奏楽部に入りたい理由は、もともと吹奏楽部に憧れているところがあって、やってみたいという思いと、全国レベルの中で鍛えられるので、実力もつくのではないかという思いがあるからです。どちらに入っても、真剣に打ち込んで活動したいと思っています。

ふたつめは、学校の行事です。自然教室や体育祭など、これからの3年間でいろいろな行事を経験していきます。そこで沢山の人たちと関わり、協力して行事を行っていくことは、自分自身の成長につながると考えるからです。

その中でも私が特に楽しみにしているのが文化祭です。田奈中学校の紹介映像で先輩たちの姿を見て、とても楽しそうだと感じました。今から文化祭がとても楽しみです。

3つ目は曲作りです。私は趣味で曲作りをしていて、技術とクオリティを向上させたいと思っています。そのために今年から音量調整や音の重ね方に工夫をしたり、音楽を作る際に役立つと聞いた音楽理論を学んだりしていきたいと思っています。少しずつ努力を重ねて、誰かの心に響くような曲を作れるようになりたいです。

これから、この田奈中学校で、勉強や部活動、曲作りも少しずつ努力を重ね、実力をつけていこうと思います。そして、小学校が違った人や新しい先生など、いろいろな人と関わり、それぞれの考え方に触れて、成長していきたいです。

上級生の皆さん、先生方。私たちにとって中学校は、わからないことばかりで、迷惑をかけるかもしれません。そんな時も、教わりながら、いろいろなことを学んでいきたいと思います。よろしくお願いします。

保護者の皆様、これまで通り、これからも、私たちを支えてください。

今日から私たちは田奈中学校の生徒です。何事も精一杯頑張っていきたいと思います。

令和4年4月7日

新入生代表

対面式

2、3年生の皆さん、今日は私たち1年生を迎え入れてくださり、ありがとうございます。
私たちは今日、こうして皆さんと対面するのを楽しみにしていました。

小学校での6年間が終わり、新たな場所、この田奈中学校での3年間が始まります。

中学校生活では、新たな発見やイベント、さらには部活動も始まります。そんな学校生活の中で、私には目標があります。それは、他人や友達との接し方、人間関係に関することです。なぜなら、中学校では今まで以上に「人と接する」ということが多くなると思うからです。たとえば、部活動です。



部活動では、違うクラスの人と交流する機会がとて多くなります。

まず、どのような態度で接すればいいのか、また、相手がどのようなことを思っているのか、ということを考えて会話をしたり、交流をしたりしていきたいと思います。

次に、ひとりで抱え込まないようにしたいと思います。私は何か物事でミスやトラブルがあると、すぐ自分一人だけで悩んでしまうことがあるからです。だからこれからは、気軽に仲間などに相談をしたりして、なるべく、「自分だけの問題」にしないように心がけたいです。

最後に上級生の皆さん、私たちはわからないことがあったり、つまずいたりしてしまうことがあると思います。そのようなときは温かく見守ってくださると嬉しいです。

私たちは皆さんとの学校生活をとても楽しみにしています。ですから、もしかしたら迷惑をかけるときがあるかもしれませんが、よろしくをお願いします。

令和4年4月8日

新入生代表

お別れ —離退任された先生方—

4月8日（金）に行われた離退任式で、長年にわたって田奈中学校のためにご尽力いただいた先生方とお別れをしました。今年是在校生（2・3年生のみ）で体育館での離任式となり、離退任される先生方からのお話には真剣に耳を傾けることができました。離退任された先生方の今後のますますのご活躍を願っております。



篠原 武 副校長	谷本中・副校長へ	江口 裕也 教諭	奈良中へ	粕谷 竜薫 教諭	市ヶ尾中へ
滝野 恵子 教諭	退職	須藤 麻美 教諭	退職	村上 孝文 主幹教諭	中川西中へ
橋本 郁也 教諭	もえぎ野中へ	中川 浩子 教諭	鴨志田中へ	小杉 美智子 教諭	篠原中へ
彌重 太一 教諭	すすき野中へ	新明 萌佳 教諭	丸山台小へ	渡邊 清和 教諭	退職
坂村 暁 初任指導員	東鴨居中へ	☆小池真利子カウンセラーは1年間産休に入ります			

ようこそ田奈中へ

一着任された先生—たくさんの先生方をお迎えしました。紹介します。

小島 央亘 副校長	あざみ野中から	田口 裕二 主幹教諭	保土ヶ谷中から	黒岩佳央理 養護教諭	茅ヶ崎小から
山口 絵美 教諭	山内小から	鈴木 南 教諭	日吉台西中から	郡 健司 教諭	あかね台中から
村松 優樹 教諭	初任	柳澤 菜穂 教諭	初任	上原 浩 初任研指導員	川和中から
和田 啓子 スクールカウンセラー					

今年もよろしくお願ひします

新年度が始まりました。新しい環境で学校生活に取り組む皆さんと共に、気持ちを新たにスタートした教職員を紹介いたします。(R4.4.7現在)

令和4(2022)年度		横浜市立田奈中学校				教職員組織	
校長	井上 菜穂子		副校長		小島 央亘		
学年	1		2		3		
学級数	一般級	8		8		9	
	個別支援級	4					
学年主任	高田 里枝子		越塚 圭子		鈴木 裕幸		
学年副主任	田口 裕二		志内 克行		和田 美穂		
		担任	副担	担任	副担	担任	副担
学級担任	1組	祖父江 和美	長谷川美	志内 克行	村松	佐藤 仁紀	小玉
	2組	海老原 巧人	高田	熊原 千寛	越塚	葛西 綾子	柳澤
	3組	山口 絵美	文岡	柴田 将	小野	布田 直人	小玉
	4組	宮原 啓輔	文岡	新畑 正恵	村松	松本 真由子	川上
	5組	松下 竜介	植松	木村 綾太	越塚	西山 智裕	柳澤
	6組	春山 万里絵	吉	樋口 恵輔	清水	佐野 太一	鈴木裕
	7組	中島 茜	植松	長谷川 賢	渡辺	高垣 俊也	柴田
	8組	田口 裕二	吉	西村 七瀬	清水	和田 美穂	鈴木南
	9組					河原 誠	鈴木南
	10組	齋藤 大輔		二宮 岩子		加藤 俊次	
			鞠谷 陽介				
(副担任)	学年所属教職	長谷川 美沙		村松 優樹		小玉 恵理子	
		文岡 由美		小野 夏美		柳澤 菜穂	
		植松 久嗣		清水 英彦		川上 寛治	
		吉 綾子		渡辺 ひとみ		鈴木 南	
				西山 千香子			
進路指導主任	川上 寛治						
生徒指導専任	柴田 潤						
非常勤講師	二上 弥生(国語) 郡 健司(美術) 森 フジ子(英語) 長 順子(養護) 柿崎 三智子(サホ-ト)						
養護教諭	吉岡 千晶 黒岩 佳央理						
事務職員	富田 淳史 磯部 紀子		技術員		三原 典子 野口 一美		
学校司書	斉藤 律子		職員室アシスタント		柏崎 麻理子		
SC	和田 啓子		初任者拠点校指導教員		上原 浩		
AET	ハナ・オドワイヤー		校内ハートフル		長 順子		

子どもに伝えたい「心に響くちょっといい話」

横断歩道を渡るおばあさんと女の子

(年齢：40代 性別：男性 職業：公務員 住所：広島県三原市)

12月のある日、夜も更けてすっかり暗くなった片側3車線の道を、自動車で走っていた時のことです。信号が赤になり、私は信号待ちをしていました。

手前の横断歩道を渡る人はいなかったのですが、道路向こうの横断歩道を渡るおばあさんがいました。道路は、片側3車線、合わせて6車線。おばあさんの道路を渡るスピードは、とても遅くて…。さらに、おばあさんは、腰をかがめ、両手に荷物を持っていて、本当にゆっくり。



「これじゃあ、渡れないよなあ。」私は渡り切ることができるのか、心配になりました。

おばあさんが渡っている横断歩道のそばには、信号が青になったらスタートする自動車が、3車線すべて揃っていました。

「青になったらまずいなあ。」と思うも、自分は何もできない状況です。

そんな時、いよいよ信号が点滅をし始めました。おばあさんは、6車線のうち4車線までは歩いていたのですが、残りはまだ2車線。

「間に合わないなあ。青になったら危ないよなあ。」と思っていたその時。中学生ぐらいの女の子が駆け寄って、素早く荷物を持ってあげ、そして、おばあさんの腰に手を当てて、一緒に歩き始めました。女の子は、停車している自動車の運転手さんに、お辞儀もしていました。声は聞こえませんが、「すみません。」と言っているようでした。

何もできなかった私とは対照的に、女の子は「危ないっ。」と、とっさに機転を利かせたのだと思います。思ったことをすぐに行動に移す女の子の姿に、私は心が打たれました。

その後、横断歩道は赤になりましたが、待っていた3車線の自動車とバイクはすぐには動き出さず、おばあさんと女の子が横断歩道を渡り終わるの見届けてから、ゆっくりと動き始めました。おばあさんと女の子も、それぞれに歩き始めました。

自動車をスタートさせた私は、女の子のやさしい気持ちを、その姿と一緒に見ていた信号待ちの運転手さんと共有したような、とても温かい気持ちになりました。



生徒の日記～日記を読んで感じたこと～

(年齢：30代 性別：男性 職業：教職員 住所：広島県江田島市)

生徒の日記 「今日、音楽で合唱練習をしました。みんなだいぶんやる気が出てきました。練習の時、リーダーが細かい所を指摘してくれました。僕は、こんなリーダーは、どこのクラスにもいないと思います。放課後も、リーダーが集まって話をしていたのですごくいいと思いました。僕は、こんなリーダーをもって幸せです。だから、リーダーをしっかり信じて、みんなで最優秀賞をとりたいです。リーダーのためにも！」

日記を読んで感じたこと これまで、リーダーは、苦しいことや辛いことが多かったかもしれませんが、彼らの努力が報われた瞬間だと思いました。仲間に想いを伝え続ける大切さを改めて感じるとともに、その想いに応えようとする生徒の姿に感動しました。

生徒達は、遅かれ早かれ必ず社会に出ます。社会に出ると、否応なしに他者との連携を求められます。一つの目標に向かって、自分が全力を出すとともに仲間を気遣う経験や共に高め合う経験が、この時期の生徒達には、不可欠だと思っています。

たかが合唱。されど合唱。合唱は、生徒達のこれからの生き方、全てに通ずると思います。

合唱の好き、嫌いはあっても仕方がないと思います。しかし、一所懸命になることに、好きも嫌いも関係ありません。本番では、自分の持っている力を100%出して欲しいと思います。合唱コンクールの目標は、最優秀賞をとることですが、目的は違います。合唱コンクールを終えたときに、全員が目的を達成してほしいと思いました。

(広島県教育委員会 ホットライン教育ひろしま より)

0校時の学習を続けていきます

今年度も、「学びの保証・基礎学力の定着・復習の時間を確保する」という観点から、毎朝10分間の0校時時程の実施を継続します。学習のためのドリルを基本教材としますが、朝読書や各自の課題学習に取り組むことも可能です。読書を行いたい場合、図書室の貸出開始は4月19日以降になりますので、閉館期間は各自で本の準備をお願いします。

学校での様々な活動を紹介します！

学校だよりでは学校行事や教科、部活動や学校外の活動などの結果を紹介していきます。これから先の田奈中生の活躍にご期待ください！！

「子ども読書の日」

4月23日は「子ども読書の日」となっております。本校図書室も年々整備が進んでおり、おもしろそうな本がたくさん入っています。今まで図書室をあまり利用していなかった人はこの機会にぜひ利用してみてください。19日（火）から開館の予定です。

部活動の仮入部が始まります - 4月13日(水)~4月22日(金) -

新入生にとって、中学校生活の中で楽しみにしている活動はやはり「部活動」。田奈中学校では、本日より仮入部が始まりました。仮入部は22日（金）までで、23日（土）に開催される部活動保護者説明会を受けて、25（月）以降に本入部となります。今年度の部活動保護者説明会は、密を避けるため、新入生の保護者のみの参加となります。

地域めぐり・皆さんのお家のそばにお邪魔します



本校では、職員が通学路の状況を確認し、学区の環境を把握して生徒理解を深める手立ての一つとして、教職員で地域めぐりを実施しています。

通学経路等を確認させていただきます。放課後に地域で田奈中の教職員を見かけましたら、声をかけていただければと思います。

田奈中の相談活動

本校では、年間2回（3年生は3回）の個人面談（三者面談）のほか、年度当初と休業明けに教育相談（生徒と教員の二者面談）を行っています。

また、月末には生活点検（気になることや、相談したい人を記入してもらい、相談活動につなげています。）、定期テスト前には各教科で学習相談も行っています。このような機会以外にも、自分のこと・友達関係・学習のこと等、困ったことや気がかりなことがあったときは、いつでも気軽に相談をしてください。担任はもちろん、学年の先生、部活動や教科の先生、生徒指導専任の先生、養護の先生・・・いつでも、誰にでも、声をかけてください。あなたの立場になって、親身に対応します。



●スクールセクハラ相談窓口●

学校におけるセクシャルハラスメントをなくすため、田奈中における相談窓口を設けてあります。生徒や保護者からの相談については、次の先生に連絡してください。

柴田 潤 （生徒指導専任）
吉岡 千晶 （養護教諭）
小島 央巨 （副校長）
電話 045（981）3101（田奈中）
教育総合相談センター（一般教育相談窓口）
電話 045（671）3726～8

●スクールカウンセラー●

今年度新たに和田啓子先生が、田奈中学校の学校カウンセラーとして勤務します。和田先生は木曜日に来校します。心に関する相談なら何でもOKです。相談は予約制です。直接申し込むか、担任・生徒指導専任・養護教諭にご相談ください。

カウンセラー専用直通電話（金曜日）

電話045（981）8461

カウンセラーの不在時は、学校に電話してください。